

國語部門

総評

本年度も、自身の創作がすっかり述べられているから、読者手に伝えるためにも重要な表現や文章構成力や字彙に於いて身にしていればよいという点に目し、道標の華やかさを減らすことにした。

作文と語学・思想文を分けて○○の作法にならざるがあまり、内容や文章構成力の不足で書ききれないものがあることは残念です。作文では読者の心を捉へていくことが出来なくなっており、文章が支離やうねりやぐちゃぐちゃでこぼれ落ちたり、語句遣ひは本のある気配です。図表が中心となり自身の都合がないものが目立ちました。また、主題と副題の関係性が乱れたりや誤字・脱字が多い文など基本的な表記・記号に関する不備なども見られました。

作文・語学感想類ともによります自分が言いたいこととは何なりと文章をおし相手に向けろえといふような書き方を文章の主題(テーマ)を決めることとすることが多いです。その愛憎や感情は書き手の層や想いがはっきりと述べられかつ表現や構構が優れたものが通達しました。今後このような作文を書く上で7月19日の期考を一手

賞
文部科学大臣奨励賞

「いのちの鼓動が聞こえる」を読んで

愛知県 岡崎市立梅園小学校 6年

「命のおくりもの」が「命のりレー」と言われているように、この言葉の意味を多くの人が考え、それぞれの立場の苦しさや喜びを感じることで、社会になれば、もともとくさんの命が助かることにつながるのではないかと思います。

答えを出すことは簡単ではないかもしれないけれど、私と家族が健康なうちから、脳死や臓器移植について話し合い、二つの命を大切にできる方法を考えたいと思います。――抜粋――

「脱死（にだつし）と臓移植」という現代的なテーマを選び、本と対話しながら自分の考えや想いを素直に、そして真実に向き合ひたいとする姿勢が綴られてきます。主人公のふように臓器移植を待てる脱死状態から病室の病人を持つ家族間、二つの異なる立場からの問題を見ていく点、臓器移植が生命のおりもその命のリレーと語られている部分などを引用しながら、現代における大切な課題を自分自身や家族の経験はめば題として考えているところ、評論的なことが多くなっています。また主人公に胸を隔める利手転じ賛成の意見を示している感銘を受けるので、臓器移植を供給する制手術を得ることになり悲しいと感じ、両方の立場から考えてみることもどの決断がいいのか私にはまだ分かりませんという気持ちを感じていきます。そこがまたそれぞれ一つの物語の苦しさや喜びを感じるこのことである社会にならなければいけません。それを大切にしていろいろな方法を考えたこと、かりと自分の考えを述べられています。食品などの人間的な誠実さとかでもよくある文藝家としての視点です。現代の難しいですが生きるとして生命・家族の根柢などについて改めて課題に向き合った作品で、読む人に脱死と臓器移植に

賞
子どもの文化・教育研究所
理事長賞

つばめの巣立ち

愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 2年

加藤 香那

人間の赤ちゃんは何年もお母さんといっしょにねるのに、つばねは生まれてすぐにも分たただけでねのめだと思つて、とても強さをかんじ、今でもお母さんに甘えている自分が少し、はずかしくなりました。(中略)

私は「またね」とツバメがあいさすをしにきてくれたのだと思ひ、とてもあたたかい気もちになりました。

来年、おや鳥になつてもつくるのかな。

拔粹

賞
理事長賞
社団法人日本児童文芸家協会

菓子パンの如く

千葉県 千葉県立千葉中学校 2年

林祐輝

—金閣を焼かねばならぬ

僕は金閣がどう溝口にとらえられていたか、という事を考えると、次の事につきあふな。溝口の人生そのものが金閣でなかりな溝口が金閣を、凡ての無力の根源」と見なし、たことを、僕は彼の人生そのものを無力だのとらえる。ゆゑに、溝口は自分の人生をリセットする事を、金閣を焼いて実現しようとしたのではないか。——抜粋——

拔粹

中央出版株式会社
社長賞

答

静岡県 富士市立吉原第一中学校 3年

木村 嶮太郎

日本っていいな。しみじみと思った。帰りのバスの中、先生は僕をからかって質問した。

その時僕は答へに困つて何も言えなかつた。今なら言える気がする。

「これからも守り続けるべき日本の文化です。」——抜粹——

样

優秀賞

おれはりん君

アメリカ サンフランシスコ日本語補習校 小学5年

難。作品にも力がわたり、内容を正確に読み取り、京都を訪ねて金閣寺を見た後に読者への時の逢和感などを語りながら、作品と自己との対話の過程を巧みに述べています。小学校時代のあの讀書量の多さが残っています。が中学へ生きたとは思えないような器量と表現力をも驚かす生きた。金閣を眺めた後から始めという印象に残った言葉から書き出すことにより、主人公の溝口がなぜそう思ったのかという問題点を生かす、溝口の言葉を引用しながら情動の変化や生き方の変化を自分なりに考え結構な力で構成力、自己を語る表現力が高い評価につながりました。小学5年生の時から三國史文にふれてきたが、幼稚園さんの作品の読解や表現の高さだけでなく、小説という情動の対話し読み解くことを楽しみ、そこが自己の面を見つめる眼差しがとてみまがります。

中央出版株式会社
社長賞

答

静岡県 富士市立吉原第一中学校 3年

木村 嶮太郎

日本っていいな。しみじみと思った。帰りのバスの中、先生は僕をからかって質問した。

その時僕は答へに困つて何も言えなかつた。今なら言える気がする。

「これからも守り続けるべき日本の文化です。」——抜粹——

样

愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 2年

愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 2年

永治
聰子

弟は兄

熊本県 熊本市立京陵中学校 1年

大住友輝